

教科・科目	学年学科	単位数	教科書	使用教材
商業 財務会計Ⅰ	2年 流通経済科 国際経済科 情報処理科	3	高校財務会計Ⅰ新 訂版（実教出版）	最新段階式簿記検定問題集改訂版 全商1級 会計（実教出版）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させる。</li> <li>・会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。</li> </ul>			
単元	学習内容	到達度目標		
財務会計の基礎	企業と企業会計  企業会計制度と会計 基準  企業会計の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計の意味とその目的および役立ちを理解する。</li> <li>・財務会計と管理会計の違い及び財務会計の機能を理解する。</li> <li>・企業会計制度の意味を理解する。</li> <li>・会社法と会社計算規則、金融商品取引法と財務諸表等規則、法人税法の内容とそれぞれの必要性を理解する。</li> <li>・企業会計原則の意味と一般原則の内容を理解させ、企業会計基準の概略についても知らせる。</li> <li>・財務諸表の種類と、その特徴を理解する。</li> <li>・企業会計の歴史を通じ、会計基準の必要性と動向を理解する。</li> </ul>		
資産	資産の分類と評価  流動資産 (その1 当座資産)  流動資産 (その2 棚卸資産・そ 他の流動資産)  固定資産 (その1 有形固定資 産)  固定資産 (その2 減価償却)  固定資産 (その3 無形固定資 産)  固定資産 (その4 投資その他 の資産)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産の意味と分類を理解する。</li> <li>・資産の評価の基礎知識を与え、資産評価の重要性を知らせ、資産評価の考え方を理解する。</li> <li>・当座資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・当座資産の各項目の記帳法を習得させ、評価法を理解する。</li> <li>・棚卸資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・棚卸資産の期末評価、棚卸減耗費・商品評価損の内容を理解させ、その処理法を習得する。</li> <li>・売価還元原価法の内容を理解させ、その処理法を習得する。</li> <li>・固定資産の三つの区分を確認する。</li> <li>・有形固定資産の意味と種類を明らかにし、それぞれの取得原価の計算方法を理解する。</li> <li>・有形固定資産に対する支出について資本的支出と収益的支出の考え方と、処理法を理解する。</li> <li>・有形固定資産の期末評価を理解させ、次節の減価償却との関連を知らせる。</li> <li>・減価償却費の意味と減価の原因を明らかにする。</li> <li>・減価償却の計算方法と、各計算方法の特徴を理解する。</li> <li>・固定資産の除却と売却の処理法を理解する。</li> <li>・無形固定資産の意味と種類を明らかにし、それぞれの取得原価の計算方法を理解する。</li> <li>・無形固定資産の期末評価を理解する。</li> <li>・投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・売買目的有価証券との違いを明確にする。</li> </ul>		

負債と純資産	負債  純資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の意味と分類を明らかにする。</li> <li>・流動負債と固定負債の意味と種類を理解する。</li> <li>・社債の意味とその処理法を理解する。</li> <li>・引当金の意味とその処理法を理解する。</li> <li>・偶発債務の意味と、その処理法を理解する。</li> <li>・純資産の意味と分類を明らかにする。</li> <li>・資本金の増加・減少の意味と処理法について理解する。</li> <li>・資本剰余金の内容とその関連する処理法を理解する。</li> <li>・資本準備金と利益準備金の取り崩しについて知らせる。</li> <li>・利益剰余金の内容とその関連する処理法を理解する。</li> <li>・任意積立金の積み立てと取り崩しの意味を明らかにし、その処理法を理解する。</li> <li>・自己株式の意味と、その処理法を理解する。</li> </ul>
損益計算	損益計算の意味と基準  営業損益の計算  経常損益の計算  当期純利益の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損益計算の意味を理解する。</li> <li>・損益計算の基準を明らかにし、それぞれの特色を理解する。</li> <li>・経常損益の意味を明らかにし、その分類を知らせる。</li> <li>・販売形態や営業種目などの相違による収益認識基準を明らかにし、それぞれの基準による処理方法を理解する。</li> <li>・営業損益の内容と区別を理解する。</li> <li>・営業外損益の内容を理解する。</li> <li>・特別損益の意味を明らかにし、その分類を知らせる。</li> </ul>
財務諸表の作成	貸借対照表の作成  損益計算書の作成  その他の財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借対照表の作成方法の考え方に棚卸法と誘導法があることを知らせる。</li> <li>・貸借対照表の形式、区分と科目の分類、配列などについて理解する。</li> <li>・報告式による貸借対照表の作成方法について理解する。</li> <li>・損益計算書の形式、区分と科目の分類、配列などについて明らかにする。</li> <li>・報告式による損益計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・株主資本等変動計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・注記法の作成方法について理解する。</li> </ul>
連結財務諸表	連結財務諸表の目的と連結の範囲  連結財務諸表の作成（その1）  連結財務諸表の作成（その2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表の意味と必要性を理解する。</li> <li>・親会社と子会社の意味と連結の範囲を理解する。</li> <li>・支配獲得日における連結貸借対照表の作成手続を理解する。</li> <li>・子会社の資産・負債の時価評価による評価替えのための連結仕訳を理解する。</li> <li>・投資と資本の相殺消去の手続きについて理解する。また、評価差額が発生する場合の連結仕訳を理解する。</li> <li>・開始仕訳の必要性と意味について理解する。</li> <li>・当期分の連結仕訳として、のれんの償却、支配獲得日後に生じた子会社の純利益の配分、連結会社相互間の債権・債務の相殺消去、連結会社相互間の取引高の相殺消去、商品に含まれる未実現利益の消去について理解する。</li> <li>・上記の内容を、連結精算表を用いて総合的に理解する。</li> <li>・剰余金処分項目の修正として子会社配当金の修正について理解する。</li> <li>・連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書および連結株主資本等変動計算書のひな形を外観した後、連結精算表から連結財務諸表を作成する。</li> </ul>
財務諸表の活用	財務諸表分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の分析の意味を理解する。</li> <li>・財務諸表の分析の方法を理解する。</li> <li>・財務諸表の分析（収益性の分析・安全性の分析・成長性の分析）を理解する。</li> <li>・構成比率、趨勢比率の分析の方法を知らせる。</li> <li>・財務諸表分析を実際に行わせる。</li> </ul>



教科・科目	学年学科	単位数	教科書	使用教材
商業 財務会計Ⅰ	2年 会計科	4	高校財務会計Ⅰ新 訂版(実教出版)	最新段階式簿記検定問題集改訂版 全商1級 会計(実教出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させる。</li> <li>・会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。</li> </ul>			
単元	学習内容	到達度目標		
財務会計の基礎	企業と企業会計  企業会計制度と会計基準  企業会計の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計の意味とその目的および役立ちを理解する。</li> <li>・財務会計と管理会計の違い及び財務会計の機能を理解する。</li> <li>・企業会計制度の意味を理解する。</li> <li>・会社法と会社計算規則、金融商品取引法と財務諸表等規則、法人税法の内容とそれぞれの必要性を理解する。</li> <li>・企業会計原則の意味と一般原則の内容を理解させ、企業会計基準の概略についても知らせる。</li> <li>・財務諸表の種類と、その特徴を理解する。</li> <li>・企業会計の歴史を通じ、会計基準の必要性と動向を理解する。</li> </ul>		
資産	資産の分類と評価  流動資産 (その1 当座資産)  流動資産 (その2 棚卸資産・その他の流動資産)  固定資産 (その1 有形固定資産)  固定資産 (その2 減価償却)  固定資産 (その3 無形固定資産)  固定資産 (その4 投資その他の資産)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産の意味と分類を理解する。</li> <li>・資産の評価の基礎知識を与え、資産評価の重要性を知らせ、資産評価の考え方を理解する。</li> <li>・当座資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・当座資産の各項目の記帳法を習得させ、評価法を理解する。</li> <li>・棚卸資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・棚卸資産の期末評価、棚卸減耗費・商品評価損の内容を理解させ、その処理法を習得する。</li> <li>・売価還元原価法の内容を理解させ、その処理法を習得する。</li> <li>・固定資産の三つの区分を確認する。</li> <li>・有形固定資産の意味と種類を明らかにし、それぞれの取得原価の計算方法を理解する。</li> <li>・有形固定資産に対する支出について資本的支出と収益的支出の考え方と、処理法を理解する。</li> <li>・有形固定資産の期末評価を理解させ、次節の減価償却との関連を知らせる。</li> <li>・減価償却費の意味と減価の原因を明らかにする。</li> <li>・減価償却の計算方法と、各計算方法の特徴を理解する。</li> <li>・固定資産の除却と売却の処理法を理解する。</li> <li>・無形固定資産の意味と種類を明らかにし、それぞれの取得原価の計算方法を理解する。</li> <li>・無形固定資産の期末評価を理解する。</li> <li>・投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。</li> <li>・売買目的有価証券との違いを明確にする。</li> </ul>		
負債と純資産	負債  純資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の意味と分類を明らかにする。</li> <li>・流動負債と固定負債の意味と種類を理解する。</li> <li>・社債の意味とその処理法を理解する。</li> <li>・引当金の意味とその処理法を理解する。</li> <li>・偶発債務の意味と、その処理法を理解する。</li> <li>・純資産の意味と分類を明らかにする。</li> <li>・資本金の増加・減少の意味と処理法について理解する。</li> <li>・資本剰余金の内容とその関連する処理法を理解する。</li> <li>・資本準備金と利益準備金の取り崩しについて知らせる。</li> <li>・利益剰余金の内容とその関連する処理法を理解する。</li> <li>・任意積立金の積み立てと取り崩しの意味を明らかにし、その処理法を理解する。</li> <li>・自己株式の意味と、その処理法を理解する。</li> </ul>		

損益計算	<p>損益計算の意味と基準</p> <p>営業損益の計算</p> <p>経常損益の計算</p> <p>当期純利益の計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損益計算の意味を理解する。</li> <li>・損益計算の基準を明らかにし、それぞれの特色を理解する。</li> <li>・経常損益の意味を明らかにし、その分類を知らせる。</li> <li>・販売形態や営業種目などの相違による収益認識基準を明らかにし、それぞれの基準による処理方法を理解する。</li> <li>・営業損益の内容と区別を理解する。</li> <li>・営業外損益の内容を理解する。</li> <li>・特別損益の意味を明らかにし、その分類を知らせる。</li> </ul>
財務諸表の作成	<p>貸借対照表の作成</p> <p>損益計算書の作成</p> <p>その他の財務諸表の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借対照表の作成方法の考え方に棚卸法と誘導法があることを知らせる。</li> <li>・貸借対照表の形式、区分と科目の分類、配列などについて理解する。</li> <li>・報告式による貸借対照表の作成方法について理解する。</li> <li>・損益計算書の形式、区分と科目の分類、配列などについて明らかにする。</li> <li>・報告式による損益計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・株主資本等変動計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・注記法の作成方法について理解する。</li> </ul>
連結財務諸表	<p>連結財務諸表の目的と連結の範囲</p> <p>連結財務諸表の作成（その1）</p> <p>連結財務諸表の作成（その2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表の意味と必要性を理解する。</li> <li>・親会社と子会社の意味と連結の範囲を理解する。</li> <li>・支配獲得日における連結貸借対照表の作成手続を理解する。</li> <li>・子会社の資産・負債の時価評価による評価替えのための連結仕訳を理解する。</li> <li>・投資と資本の相殺消去の手続きについて理解する。また、評価差額が発生する場合の連結仕訳を理解する。</li> <li>・開始仕訳の必要性と意味について理解する。</li> <li>・当期分の連結仕訳として、のれんの償却、支配獲得日後に生じた子会社の純利益の配分、連結会社相互間の債権・債務の相殺消去、連結会社相互間の取引高の相殺消去、商品に含まれる未実現利益の消去について理解する。</li> <li>・上記の内容を、連結精算表を用いて総合的に理解する。</li> <li>・剰余金処分項目の修正として子会社配当金の修正について理解する。</li> <li>・連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書および連結株主資本等変動計算書のひな形を外観した後、連結精算表から連結財務諸表を作成する。</li> </ul>
財務諸表の活用	財務諸表分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の分析の意味を理解する。</li> <li>・財務諸表の分析の方法を理解する。</li> <li>・財務諸表の分析（収益性の分析・安全性の分析・成長性の分析）を理解する。</li> <li>・構成比率、趨勢比率の分析の方法を知らせる。</li> <li>・財務諸表分析を実際に行わせる。</li> </ul>